

The 68th Tokyo International Gift Show 2009 Autumn



●主催:(株)ビジネスガイド社 ●2009.9.8(火)~11(金) ●東京ビッグサイト(東西)全ホール

■日本最大のパーソナルギフト&生活雑貨の国際見本市

「ギフトショーで合おう」を合い言葉に、第68回東京インターナショナル・ギフトショー(秋)が開催。2009(秋)のテーマは「エコライフで消費ビジネスの新市場を創出」…地域密着の環境と健康を配慮したエコロジカルライフで商品戦略・販売戦略を見直し、多角的な新需要に取り組もう!

ギフトショーは、最新のトレンド・デザイン・クオリティの高い見本市として各業界、商品カテゴリー別に高い評価を得ており、実に34年間の開催が続いています。また専門性の高い35のフェア&イベントも同時開催されており、今回の出展社数は2316社(内海外25の国と地域・400社)感度の高い多彩な商品ジャンルから出展、来場者数は1日平均5万人:主催者発表(総来場者数:195,413人)…各々の商品分野で出展社、来場者の関心が伺える。

ここ3年春と秋(計6回)TDAの取材を行ってきましたが、この間大きな「Change」&「New」は残念ながら感じられませんでした。しかしこの間にも時代のトレンド・キーワードの「変化」が伺えます。それは、エコロジー、ナチュラル、ジャパン、省エネ、レトロ…それは全てに繋がる「癒し」が今注目の「キーワード」と言えます!

■ギフトショー注目の併設開催フェア&イベントから

●伝統とModernの日本ブランド:第6回「Modern Japanese Style」

第6回を迎え少し新鮮味に欠けているのが、今回も日本の誇る新しい「和」が集まりました。現代の生活スタイルに合った「和」テイストが「衣」「食」「住」「芸」のカテゴリーに分類、イベントコーナーと各企業の展示ブースにて紹介。



・「新しい日本のカタチ」を創造てめぐいkenema

・「伝統の技がひかる”ほのあかり”加賀の伝統技術



・蘇る図案、西陣の蔵から発見、一世紀前の図案

・丹後のちりめん今日の日常生活に向けて幅広い用途へ

